

令和5年度

南ヶ丘小だより

Newsletter from Minamigaoka

校訓 心をみがき 体をきたえ 夢を大きく

学校教育目標 郷土に誇りを持ち 未来を拓く

心豊かな子どもの育成 (合志中校区共通目標)

令和5年7月5日 第9号 文責 澤田

引き渡し訓練では、親子で確認をいただきました。

6月24日(土)に授業参観と引き渡し訓練を実施しました。授業参観は、今年度2回目。児童は緊張の中にも発表をがんばろうと普段以上に活発に授業に参加していました。ある程度の緊張感は子どもたちをぐっと成長させますね。しかも大好きな保護者の皆さんがお客様ですから、気合いが入ります。



(1年生は保護者も授業に参加)

引き渡し訓練では、登録いただいている方のお迎えになっているかを担任が確認しながら引き渡しを行いました。帰り道の危険箇所も想定して、親子で確認もいただいたことと思います。実施へのご協力感謝致します。

5年生の様子を紹介します。

5年生は、年度初めからさまざまな場面で6年生を見て学ぶ場面がたくさんあります。3年ぶりに行った全校集会では、静かに待つ姿勢を上級生のお手本として示してくれました。来週は、集団宿泊教室に出発します。昼の部も夜の部もありますが、みんなが協力し合えば、5年生の底力を発揮できて、初めての挑戦も成功できるでしょう。運動会以来、6年生からすでにバトンを受け継いでいますからね。



ゆで野菜と手作りドレッシングで、野菜をおいしく食べました。



理科の授業。片目をかくすと、友達が視界から消える？



姿勢良く作業に取り組んでいる5年生。これまでの積み重ねが生きていますね。

学んだことを行動に生かすには、「習慣化」が近道。「するのが当たり前」になれば、面倒でなくなります。

実は、実話です。6年生の男子児童が、下校中に、道路上でペットボトルが散乱しているのを見つけ、それを拾い始めました。すると、路上にゴミ袋も落ちていることに気づき、それも集めました。「集めてくれてありがとうね。」と、声をかけると、「せっかく授業でSDGsを勉強したから」という返事が返ってきました。学んだことを自分の学びにして行動化できることが、真の「学び」というのでしょうか。大雨で流れてきたペットボトルをゴミとして見過ごして終わらせるのか、回収して再利用に回すのかは、人間次第。大人が小学生に教えてもらいました。習慣が一人から二人へと広がると、学びが生きてきます。

校内には、今学習している内容をまとめ、学習の足跡としていつでも振り返り、学びを深めるために効果的な掲示があちこちに見られます。4年生が環境学習をして、「循環型社会」について学びました。感想の中に、「ごみの分別に取り組みたい。給食を残さず食べたい。」などが書かれていました。これもぜひ、習慣にしていきましょう。一人の習慣が、100人の習慣になったらとんでもなく驚く効果が現れるはずですよ。

一方で、学校には持ち主の分からない落とし物(衣類、ぼうし、ゴーグル等)がたくさん並んで、持ち主を数ヶ月待っています。物は、「製品」です。「製品」を「ごみ」にするのは人間です。「授業で学んで終わり」にしないことが求められます。6年生は、おうちの方にSDGsについてぜひ説明をしてみてください。

※おことわり 学校だより7号をとばしていました。正式には、今回が第9号となります。お詫びいたします。